

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

サロン通信改め

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

コミュニティが育む力

—安心・安全な新鮮野菜販売— じゃがいも仲間の会

昨年6月、川西地区の8名のメンバーが集まり「じゃがいも仲間の会」が発足した。農業未経験者が農家さんの指導の元、安心・安全の野菜を作り、販売している。平均年齢は、なんと80歳！！

その発足までのお話を代表の宮澤さんに伺った。

●地域のお役に立ちたいという思い。

宮澤さん—「61歳まで会社勤めをしており、退職したら何か皆さんのお役に立つことをしたいと考え、大田原で高齢者外出支援を始め、携わってきました。そして、80歳になったら、第二の人生を自分のためにしようと思っていたんです。」



●そんな矢先のコロナ禍。鍵になったのは昔からのコミュニティ。

コロナによって人が集まることがなくなった昨年。宮澤さんは古くからの仲間であり、黒羽向町で「さわや菓子店」を営む矢板さんに相談した。

宮澤さん—「さわや菓子店は、昔からお菓子を買う人はもちろん、買わない人でもふらっと立ち寄ってお茶が飲める場として親しまれてきました。そんな場所を何とか作れないだろうか、矢板さんに話しました。」



代表：宮澤武夫さん

じゃがいもって、いろんな表情があってかわいし、親しみやすいんです。そこから「じゃがいも仲間の会」という名前をつけました。

●外で体を動かせば健康に！

矢板さん—「賛成した一番の理由は、コロナで家の中ばかりにいたこと。畑に出て体を動かせば元気になるし、休憩でお茶飲みをすれば楽しいのでは？と思いました。」
こうして以前から交流のあった「ほほえみセンター」の仲間にも声をかけ、活動が始まった。



矢板さんの笑顔とやさしい話し方がみんなを和ませる。



現在、育てている野菜は18種類。

今回の取材を通して「話せる人、仲間がいるっていいな」と純粋に思いました。当たり前のようなちょっとした近所付き合いであっても、とてもエネルギーになっている。暮らすことの醍醐味は、こういった「関わること」にあるような気がします。(白井)

じゃがいも仲間の野菜が買える場所

●さわや菓子店

大田原市黒羽向町68 (火曜日休み/9時頃～)



●ヒカリノカフェ 蜂巢小珈琲店

大田原市蜂巢295

(水曜・金曜・土曜 /11時～14時)



野菜作りを指導する猪股さん。栽培にける細やかさは人一倍。

●おやまだい おひさまカフェ(旧川西中学校)

黒羽向町1555 (第4金曜 10時～13時位)

※おひさまカフェの時間によって変動あり

●よしのや釣具店

大田原市黒羽向町1372 (休みなし/9時頃～)

●松木沢直売所 (土曜・日曜)



※各販売所とも売切れ次第終了
お問合せは宮澤さんまで Tel: 080-2278-7866

お試しテレワーク事業

8月31日(火)まで

場所: cafe as (カフェ・アズ)

大田原市中央1-17-14

利用料: 無料

予約方法: cafe as (カフェ・アズ) へお電話でご予約ください。

Tel: 0287-46-5300

受付時間: 定休日 (毎週水曜・木曜) 以外の11時～17時

※詳細につきましては、市のホームページをご覧ください。

大田原市では、元・大田原市地域おこし協力隊の運営するカフェのレンタルスペースを、テレワークの場として設置いたしました。是非ご利用ください。


- ・Free Wi-Fi
- ・電源タップ
- ・ホワイトボードあり



半個室のスペース



開放的なスペース



お持ちの空き家を
空き家バンク
で活用してみませんか?

「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録していただき、利用したい方に情報提供する制度です。

詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課

Tel: 0287-23-1916

お問合せ

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市役所 総合政策部 政策推進課

大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階

Tel: 0287-23-8794

大田原の暮らし、良い場所、移住情報など、あれこれ発信中!



いいね! フォローをお願いします!